

令和6年度第1回定時理事会議事録

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

- 1 日 時 令和6年6月11日（火曜日）
14時00分から15時00分まで
- 2 場 所 東京都スポーツ文化事業団 事務局共用会議室
（日本パーティビル地下1階）
- 3 理事現在数 7名
- 4 定 足 数 4名（理事の過半数の出席をもって成立）
- 5 出 席 者 8名（理事以外を含む）
理 事 6名
（理事長）塩見清仁
（常務理事）越秀幸
（理事）延與桂、梶原洋子、中川冷子、平野裕一
監 事 2名
飯塚幸子、中山正雄
- 6 議 題
 - (1) 審議事項
第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について
第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について
第3号議案 任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について
 - (2) 報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について
デフリンピックスクエアについて
東京 2025 デフリンピック応援隊の結成について
理事候補者選任方針について

7 議事に至るまでの経過

定刻となり、出席予定者が全員揃ったため、理事会を開会した。議事に入るまで、河野事務局長が進行役を務めた。冒頭、当理事会は東京都スポーツ文化事業団理事会会議規程第7条に定める定足数を満たし、有効に成立する旨を報告し、定款第32条に基づき理事長が議長を務める旨を説明した。

これを受け、塩見理事長が議長として、開会を宣言した。定款第34条により、議事録署名人は出席した理事長及び監事が務めることを確認し、議事を開始した。

8 議事の経過及び結果

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 平野理事

個人利用者数がなかなか回復しない原因はどのように考えるか。

(回答) 河野事務局長

利用者が戻ってきてはいるが、コロナ禍による生活様式の変容によって、これまで継続されていた人たちの参加意欲や、行動の流れなどが変わってしまったのではないかと考えている。これからも各事業者と連携しながら利用者を増やしていきたい。

(質問) 平野理事

減少した利用者について調査をするのは難しいか。

(回答) 河野事務局長

各館においてアンケート調査などを実施しているので、そのような中で分析を行っていきたい。

(質問) 平野理事

事業報告の中でスポーツビジネスセミナーの記載があったが、最近、学

生や若い人が非常にビジネスに対して高い関心を持っているが、そうしたセミナーに対する事業団の考えはどのようなものか。

(回答) 引場部長

昨年度はスポーツビジネスについて実際に当事者として携わった方を講師に招いて実施した。民間で行われている様々な大型イベントやそうしたイベントの推進等を支援することについて学ぶため、一般の方やスポーツビジネスに携わりたいという方、さらには、現にスポーツ施設の運営に携わっているような方などを対象に行っている。

(質問) 延與理事

最近、人件費の高騰や人手不足で契約に苦勞することがある。加えて、大手広告代理店や旅行会社の指名停止などにより、契約の成立が難しい状況にあると思うが、事業団において苦勞されていることなどがあれば伺いたい。

(回答) 河野事務局長

人件費については、働き方改革などにより、一般的に人件費単価が上がっていることなどは認識しているが、現時点では、事業者を選定して入札などを行いながら、サービスを低下させることなく、各事業を実施することができている。

(質問) 平野理事

何年かぶりの黒字決算とのことだが、以前の評議員会での説明で、駒沢オリンピック公園総合運動場の改修などの収入などによる一過性のもので、継続的に続くものではないという話と伺っていた気がするがいかがか。

(回答) 河野事務局長

駒沢オリンピック公園総合運動場の改修工事に関連する指定管理料のことを言われているのではないか。指定管理料で黒字になるということではなく、そのようなことも収支の安定にはつながっていると考えている。

(質問) 中川理事

満足度調査に関して、94.9%の方が満足とのことだが、一方で、不満の具体的な内容は何か。

(回答) 河野事務局長

施設の使い勝手や老朽化や構造などに関する要望・意見を頂いているが、出来る限りカバーし、満足いただけるよう努めてまいりたい。

(質問) 平野理事

次世代のスポーツ選手の育成事業について、過去には、東京にある大学

をお願いをして、高校生などを育成していくというやり方をしていたが、限界を感じていた。そうしたものが国際交流事業に代わっていったのは好ましく感じているが、育成する選手を海外に遠征させるなど、外に出していくという考えはないか。

(回答) 河野事務局長

現時点では明確に言えないが、競技団体と連携するなど、様々なアイデアや議論があると思う。今後の事業計画の中で考えていきたい。

(質問) 梶原理事

最近クレームを言う人が増え、ハラスメントになることもあると聞く。その点、事業団ではどうか。

(回答) 平林所長

いわゆるカスタマーハラスメントという点については、駒沢オリンピック公園総合運動場では、トレーナー等もしっかりしているためそのような事態は避けられている。また、施設に対する周辺住民からの苦情などもあるが、丁寧に対応している。

(3) 決議

第1号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第2号議案 評議員会の開催並びに議事に付すべき事項について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたが特段の発言はなかった。

(3) 決議

第2号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

第3号議案 任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について

(1) 議案説明

議長が事務局に対して本件の説明を指示し、河野事務局長が説明を行った。

(2) 質疑及び意見

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(質問) 延與理事

評議員選定委員会はいつ開催か。また、評議員会からの候補者の推薦の予定はあるか。

(回答) 塩見理事長

6月19日に評議員選定委員会を開催予定である。評議員会からの推薦の予定は無い。

(3) 決議

第3号議案について諮ったところ、「異議なし」との声があり、全出席者一致で本議案については可決した。

9 報告事項

(1) 理事長及び常務理事の職務執行状況について

本件について、河野事務局長より報告した。

(2) デフリンピックスクエアについて

本件について、北島部長より報告した。

(3) 東京 2025 デフリンピック応援隊の結成について

本件について、板倉部長より報告した。

(4) 理事候補者選任方針について

本件について、河野事務局長より報告した。

説明終了後、議長から質疑及び意見を求めたところ、以下の発言があった。

(意見) 延興理事

先月、神戸で開催された世界パラ陸上競技選手権大会は、十分な集客があり、また、学校観戦や応援なども大変盛り上がり、良い大会であった。また、セキュリティが厳格すぎないため、選手団や関係者が観客席で一緒に応援したり、選手と観客が会話ができるような場でお子さんたちと一緒に写真を撮ったり、とても良い交流の場面が見られた。選手や外国人の方にとっても、日本の子供たちとの交流や人との触れ合いは、満足度を上げるものだと思う。それらの視点も踏まえて、デフリンピックスクエアを素敵なところにしていただきたい。

10 その他

議長より意見を求めたが、特段の発言はなかった。

以上をもって理事会の議事を全て終了したため、議長が終了を宣言し、散会した。